

いしだ便り

第 5 号

2014年1月23日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会

迎春



『はばだけー！石田っ子』

石田っ子クラブは、昨年の六月から毎月一回、第一土曜日に行っている、子育て支援事業です。県のサポートを受け石田ふるさと振興会の健幸福祉委員会で継続して行っています。今の石田地区の子どもたちを取り巻く環境は、少子化で、学校からうちに帰ると近所に遊ぶ子どもがいない。また、放射能の影響で自由に外で遊べないなど、色々な問題があります。そこで、少しでも子育ての手助けになればという事で、この事業を展開することになりました。私たち委員も初めての経験で、まだまだ手探りの状態ですが、会を重ねる度、子どもたちも慣れてきてくれて、楽しんでいて、安心していきます。先日は、霊山子ども村で、クリスマスパーティーを行ってきました。子どもと保護者、スタッフ合わせて三五名の参加で、大変にぎやかに行いました。子どもたちは初めてのケーキのトッピングやワークシヨップでの工作、そしてミュージアムの中を駆け回り、又、外のすべり台では、みんなで何回も滑って、とても楽しそうでした。この事業は来年度も引き続き行っていく予定ですので、子どもたちだけでなく、保護者の皆様にも参加して頂き、親同士の交流の場にもなっていってほしいと思います。また委員会では、ボランティアスタッフも募集しますので、中学、高校生の方も一緒にやってみてほしい方は、ぜひ声をかけて下さい。待っています！

新年のあいさつ

石田ふるさと振興会会長 佐々木雄一
新年明けましておめでとう、ごさいます。皆様には、ご家族お揃いで新春をお迎えした事とお慶び申し上げます。昨年は振興会も2年目となり、いずれの行事も盛大に開催できました事、心より感謝とお礼申し上げます。今年もふるさとでの美しい豊かな自然と伝統文化を守り伝え、風習を大事にしながら、みんなで助け合い励まし合って、心をひとつにし、結集した力をもって安心して楽しく暮らせる地域づくりのため頑張ります。今年も宜しくお願い申し上げます。

石田の宝 特集1

小石田の三十三観音像

小石田字紫蔵窪の熊野神社奥に見事に並んだ三十三体の石仏、正面に霊山が一望できる位置にあること、また山ふところに整然と並んだその様子は正に石田のパワースポットである。

投稿者の佐々木荘之

助さんによると、約参百年前、小石田地区に伝染病が流行し多数の人が亡くなった事から救いの手として建立されたものだそうです。是非一度行って手を合わせてはいかがですか。



第2回 石田ふるさとまつり



ふるさと祭りに参加して

遠藤 恵子

今回も参加させていただきありがとうございました。地域の交流が希薄になっている昨今、大変意義のある催しだと思います。

地域には、芸達者な人たちが大勢いると思いますので、次回は参加を呼びかけていただきたいです。いも煮汁、とってもおいしかったです。



写真コンテスト入賞

菅野 勝正

今回の写真コンテストがあるということで秋の紅葉 霊山を撮影したいと思い国司沢へ。三日間山桜の咲くのを待って朝早くカメラをセットして光が桜に当たるのを待ってシャッターを切った。今回、最優秀賞を頂きとてもうれしく思います。有難うございました。



【プロフィール】

二十歳から撮り始める。写真学校(丸森)へ1年通うコンテストで佳作受賞した。

ふるさと祭りに参加して

齋藤 トキ

イベントに私も地区の一員として参加、イモ煮のお手伝いをさせてもらいました。地区の人口も減少していく中で少しでも地域を元気づけようと開催に当たった役員の方々ご苦労様でした。これからも地区の一員として応援をしていきたいと思っています。



ふるさと祭りの感想

石田小三年 佐藤 葵

九月からレッスンして、はじめての発表でした。おおぜいの人っていて、とても、きんちょうしたけれどもさいごまで楽しくおどることが、できたのでよかったです。また地いきのみなさんの前でおどりたいです。





今年、石田の

地域おこし支援

二〇一四年の新しい出発を、幸せな気持ちで迎えることができたでしょうか。昨年も地域おこし支援員の活動に、沢山の方のご支援ご協力を頂き、本当にありがとうございました。

多くの方に支えられてると、実感した年でした。二〇一四年もどうぞよろしくお祈り致します。

門馬 照

魅力をたくさん見つけ、伝えていきたいです。皆様方一人ひとりの笑顔が多々の方々の笑顔につながり、幸せが広がる年になるよう頑張ります。



盛大に十一月十七日、第二回石田ふるさと祭りが開催されました。晩秋にしては暖かな日曜だったこともあり、二百人を超える来場者がありました。

地元の野菜がぎっしりの「芋煮汁」に舌鼓を打ち、ダンスや日本舞踊を楽しみ、最後はみんな「豊年踊り」の輪を広げました。校庭ではラジコンヘリコプターのアクロバット飛行が行われ、歓声がかたまっていました。



トピックス

・U-15 全国大会出場
渡辺賢太(中三)は、昨年十二月に大阪で開催された「高円宮杯全日本ユースサッカー選手権大会」に福島ユナイテッドFC(U-15)のメンバーとして出場しました。



総務広報委員会

皆様、明けましておめでとございます。今年も、石田便りを春夏秋冬の4回発行する予定です。より良い、石田便りをお届けしたいと考えておりますので石田の情報をどんどんお寄せ下さい。

昨年は石田の花を公募し「春は水仙、秋は彼岸花」に決定し9月には1万2千個の球根を植え付けました。

今年も植え付けを予定しておりますので昨年に引き続きご協力をお願いいたします。

また、石田振興会のホームページの立ち上げを計画しておりますので楽しみにして下さい。

健幸福社委員会

現在、健幸福社委員会では、健康推進員の方と協力をして、健幸石田地区という活動を行っています。何より石田地区民全員の健康で幸せな生活を目標にして、自分たちで出来る事からやっつけていこうと勉強中です。



地域活性化委員会

一、霊山登山ゴミ拾い作戦を、十一月二十四日に行いました。百二十名の参加者があり道先案内人会の協力も得られ大変有意義な登山でした。



二、石田の宝 六月から募集を始めた石田の宝も現在では、約十六件の投稿があり、確認をしています。

三、写真コンテスト 数多くの作品を、応募してもらい、コンテストを

実施しました。結果については、ふるさと祭りの時に発表、掲示をしました。年明けにも、第二回目のコンテストを開催いたします。

今後とも、石田の宝、いいとこ写真も継続しますのでよろしくお願いします。

環境防災委員会

「甦れ、石田」

月日の流れも早いもので昨年を振り返って当委員会の事業、計画の確実性の無さに反省しこれからの委員会のあり方をもっと、もっと地域の皆様と話し合って行きたい。

Bエリアの除染も(一)〜(三) 一月二十二日工期で各除染事業者の努力により全工区共ほぼ終了した。ほとんどの所でモニタリング O・一〇〇・四マイシーベルト以下に下がり除染による環境整備も一歩前進を見たもの。まだ場所によってホットスポットがあります。今後は、各人が地域の皆と共有して連携を取りながら以前の石田を取り戻しましょう。

ふるさと通信

また故郷を離れ東京にやってきた。以前も大学卒業後十六年間生活していたの

で、勝手知った場所である。東京も十二月上旬でやっと福島の十一月上旬くらいの気温になってきた。紅葉も少し前が見頃だった。こうして地方と都会両方で生活してみると、同じ日本国内でも天候はもちろん地形や町の景色、そこに住む人々の特徴や生活習慣なども大きく違うことに改めて驚く。でも、だからどちらが良いとかは一概には言えない。地方には地方、都会には都会の良さがあるから。私自身、どちらにも好きな点があり、いまは東京に住むことを選択したというだけである。どこに住んでいようと、私が生まれ育った場所は霊山ひとつであり、それはこれからも一生変わることはない。離れたからこそわかる、故郷への想い。

菅野佳奈子

石田育成会

廃品回収を二月十六日(日)に行います。

石田婦人会

皆様のご協力によりエコキャップ回収運動も目標を超え百二〇キロ集まり無事民友新聞社に持ち込んできました。これで、一応回収運動は終了します。有難うございました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は会員の皆様にはお世話になりました。いしだ便りも二年目を迎えるにあたり話題を盛りだくさん掲載していきます。皆様の協力を願います。

編集員委員長